

採用先企業
インタビュー


大洋海運株式会社
TAIYO KAIUN CO., LTD.

■現業部 船内課長 鎌田 恭輔 様



インタビュー風景
(右：奥村様 (港湾荷役科 修了生))

Q.1 お名前と役職を教えてください。

鎌田恭輔と申します。現業部船内課の課長をしております。

Q.2 貴社の従業員数とポリテクセンターの修了者数を教えてください。

当社には約 200 名の従業員が在籍しています。そのうち、ポリテクセンターの修了生は、中途採用者も含めると約 55 名（事務職も含む）が在籍し活躍しています。改めて数字を見ると、従業員の約 1/4 なので、結構高い割合ですね。

Q.3 ポリテクセンターの修了生に対する印象や評価、貴社に対する貢献などを教えてください。

ポリテクセンターの修了生は、港湾の業務に必要とされる免許や資格を多数取得されているほか、港湾の業務に特化した訓練内容を学んでいるため、知識や技術のレベルも一定水準が保たれており、採用に関してはミスマッチがとて少ない印象です。

業務に必要な資格や知識が備わっているため、採用後の配属、仕事の割振りの際は優先的に対応ができるので現場では非常に重宝しています。

Q.4 奥村さんの評価、貴社に対する印象を教えてください。

積極的で明るい性格で、良く頑張っている印象です。作業の合間を見つけて重機の練習をするなど、前向きな一面があり「早く一人前になりたい」という熱意が伝わってくるため、現場でもその姿勢が評価されています。

担当している作業は、その日の状況によって異なる重機を扱うなど大変な一面もありますが、安全意識も高く安心して業務を任せています。

Q.5 受講者に対する要望（技術面、礼儀面など）を教えてください。

現場の作業に必要な技術面等については、採用後に配属先で教えますので心配しなくても大丈夫です。

特に皆さんにお伝えしたいことは「安全第一」の意識を持つことの大切さです。昨今の社会では安全が重要視されつつあります。どの企業様も同様だと思いますが、当社でも、安全に対する取組や従業員の意識啓発に注力しております。

安全への意識を高めるために最も重要なのは、単純作業や毎日のルーチン作業でも、1つ1つの作業ごとに、「安全」を意識して作業品質を高めようとする皆さんの心構えです。

受講者の皆さんも、ポリテクセンターの訓練を通じて安全意識を心掛けて頂ければ、現場に出た際に必ず役立つと思いますよ。

Q.6 港湾荷役科に対する要望はありますか。

今後も、港湾で役立つ多数の免許や資格、知識を身に付けた修了生を輩出いただければ幸いです。もしご縁がありましたら、港湾荷役科の修了生の方を積極的に採用させて頂きたいと考えています。

Q.7 ポリテクセンター名古屋港の受講者にメッセージをいただけますか？

名古屋港の仕事は、世間一般には馴染みがないため認知度が低いかも知れませんが、私達の日常生活を支えるために必要不可欠な仕事です。現在は人手不足への対応や作業の効率化を目的として一部ではオートメーション化が進められていますが、実際のところ人手が必要とされる部分はまだまだ多いです。

ポリテクセンターに通っている皆さん、取得した免許や資格を生かし、現場の即戦力として一緒に働きませんか？採用後は本人の適性を見ながら人材育成を行っておりますので心配ありません。従業員一同、皆さんと一緒に働けることを心待ちにしております。

取材にご協力いただいた会社概要

事業所名	大洋海運株式会社
所在地	名古屋市港区入船一丁目4番28号
事業内容	港湾荷役事業、倉庫業、通関業、自動車運送取扱業、内航運送取扱業
ホームページ	https://taiyokaiun.co.jp/



本社



名古屋港オペレーションセンター（現業部）

取材には港湾荷役科を修了された奥村様にも同席いただきました。習得した資格や知識を生かして活躍されている状況をお聞きし、大変励みになりました。

ご多忙のところ、ご協力ありがとうございました。

修了生 インタビュー

大洋海運株式会社
TAIYO KAIUN CO., LTD.



■現業部 船内課 奥村 和貴 様
令和3年4月 港湾荷役科 入所
令和4年3月 港湾荷役科 修了
令和4年4月 大洋海運株式会社 入社

Q.1 ポリテクセンター名古屋港で訓練を受講しようと思った理由は何ですか。

高校を卒業後、現在とは全く別の業界に就職して働いていました。ポリテクセンターのことは、中学の同級生や後輩が通っていたため、詳しく話を聞く機会がありました。また、叔父が港湾企業で働いていたこともあり、港湾での仕事やポリテクの話聞くうちに次第に自分も港湾企業で働きたいと思うようになり入所しました。港湾で働くために必要な免許や資格が1年間で全て取得できるのが最大の魅力です。

Q.2 現在担当している仕事について教えてください。

毎日決まった業務を担当している訳ではなく、その日の手配状況によって、仕事内容は毎日変わります。そのため、様々な重機に乗る機会がありますが、ポリテクで取得した免許や資格がフルに生かしています。重機を扱う以外にも、ラッシング作業やロープワーク、誘導員（車両）など毎日の仕事に飽きません。将来的には専門分野を極めたいと考えていますが、今は様々な業務に携われることが自信を成長させる貴重な経験だと感じています。将来的には自分の専門分野を極めたいと思っています。

Q.3 訓練を受講した中で、現在の仕事に役立っていることは何ですか。

ポリテクで学んだ「港運概論」の授業が特に役に立っています。一般的には「プラン」、「ザブトン」などの業界用語は関係者以外が知る機会がありませんが、入社した時点である程度理解できていたので大変助かりました。実習では、ロープ作業の実習を経験したことが現在とても役立っています。天井クレーンの運転や応用実習（訓練の最終段階に行う実習で、班毎に様々な重機等を日替わりで取扱う実習。）がとても楽しかった思い出があります。

Q.4 奥村さんが入社しようと決めた理由を教えてください。

港湾荷役科の先生方に相談して決定しました。様々な港湾企業がある中で自分の希望する「業務内容」や「働き方」とマッチする会社を選び決定しました。先生は経験豊富な方ばかりで、各受講生の適正も十分把握されておりとても心強かったです。

Q.5 日々の仕事を進めるうえで、気をつけていることは何ですか。

1つの不注意が重大事故に繋がるため、常に緊張感を持って作業しています。自分はまだ経験が浅いですが、業務への取り組み姿勢など、技術的な部分以外についても諸先輩方から吸収するよう心掛けています。

Q.6 仕事をしていて楽しかったことや大変だったことはありますか。

クレーンの操作は大変ですが、難しいからこそやりがいがあります。時には厳しい指導もありますが、その教訓を生かすか殺すかは自分次第です。同僚とも切磋琢磨し、今後もレベルアップを目指して頑張ります。

Q.7 将来の目標を教えてください。

早く一人前のガンマンになるのが目標です。日々の業務から学ぶことはまだまだ多い状況ですが、少しずつ目標に向かって前進しています。車両の方も一人前に走れるようになりたいです。

Q.8 ポリテクセンター名古屋港の訓練を受講しようと検討している方へメッセージをお願いします。

港湾の仕事は非常にやりがいのある仕事です。自分の手で経済を回している実感があります。そして、生半可な気持ちは事故につながります。最初は誰でも初心者です。まずはポリテクで基礎部分をしっかり身に付けることが第一歩です。授業内容は、特に船内作業では必須のスキルであるラッシングやロングバーの実習、ロープワークやプランの見方など幅広く網羅されているため、修了時には十分なスキルが習得出来ているはず！



インタビュー風景①
(左：鎌田様 (上司))



インタビュー風景②
(右：今井指導員 (恩師))



作業風景 (ガントリークレーン)
※風の影響や機器の個体差の把握など、ガンマンには熟練の技術・技能が必要とされます。

取材には上司の鎌田様にも同席いただきました。奥村様の活躍状況をお聞きし、担当指導員にも笑顔が見られました。ご多忙のところ、ご協力ありがとうございました。